京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金拾五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲繫報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

韓人退去事件

清國官憲は曩に金州管內に居住せる韓人に退去を命ぜしが今回又々新民屯蒲河沿岸の韓人數百名に對して退去命令を下したる由なり元來清國に於ては韓國を以て自國の屬邦と見做し居たる結果韓人の入國居住に就ては從來全く默認し來りたるが東洋の時局一變すると同時に韓國は日本の保護國となり其の國民は全部日本の官憲に依りて保護せらるゝこととなりたれば其の結果彼等は遽かに韓人を他人扱ひにし條約上の權義を理由として之れが退去を强要するに至りたる次第なりされば清國の主張は一應理由なきにあらずとするも最近の入國者は兎も角永年其の地方に居住し永住的目的を以て一定の生業に從事し居れる韓國人に就ては條約の文面以外正當の理由を有するものなるを以て本邦に於て出來得る限り彼等韓人の利益を保護せざるべからず況んや其の借地及び收穫計算等の事に關し清國官憲の處置に服し難き點ありと云ふに於てをやと某當局は語れり

清國蒙古經營

北京軍機所に於ては去る九日蒙古問題を詳議し新日露條約の爲め形勢變動せるを以て之に關して必要なる手段を執らんことを議し漸く衆議一決せり而して其計畫の要領は蒙古の爲め近世式兵士二師團を備へ新規則に從ひて蒙古教育組織改革を行ひ北京蒙古間に鐵道布設に着手せんと言ふに在り

北清撤兵問題

北京天津並に通州に於る各國駐屯軍に對し清國政府は清國現今の狀態に照し最早列國にても軍隊を駐屯せしむるの要なかるべければ清國に對する好意と現在の形勢とに鑑み全部の撤兵を希望し居る模樣にて未だ具体的に提議し來るには非ざるも清國としては無理からぬとなり實は同問題は既に昨春獨逸が率先して全部の撤兵を爲し次で日露兩國は共に一部の撤兵を爲せる際獨逸の主唱に由り全部撤兵問題に就き各國間に商議開始されしとありしが英佛其他共に事情を異にせるより遂に研究問題として其儘立消となり今日に及べるものなり秦皇島山海關の兩地はいざ知らず北京天津通州に於ける駐屯軍は或は近き將來に於て撤兵さるゝやも知るべからず然れども幾く清國と隔絕せる歐洲各國は何時清國に內亂起るやも知れずとの疑懼を抱き居れば全部の撤兵を實現するは容易ならざるべく要は非常の場合に對する清國政府の威力如何にあるのみ

私立學校廢合

平南觀察道にては近く管內各地に於ける私立學校にして其不良なるものを廢し一般に其數を減少して比較的完全なるものを存立せしむる筈にて右に就き過般學部へ申請する所ありたるが四五日前認可の通報ありたれば今回愈之れを斷行する事となり就ては先試に平壤より開始して同郡都に亘り其成績を見たる上更に便宜之を擴張して地方に及ぼす筈なるが今平壤城內のみに於ける同私立學校は二十七校ある趣きにて同校即ち我邦の寺小屋に似たる今日の場合一般の智識開發上寧ろ害あるも利益なきものの廢滅方に着手したるが之が爲め生徒の私立學校に轉學する者多く爲めに一般私立學校にては大に歡迎し居れりと云ふ

●日韓海底電線所管

對馬釜山間の海底電線は大北電信會社の所有に屬し先年我遞信省に於て之れが買收を企て同會社との間に交涉する所ありたるも意見一致するに至らずして其儘となり居るが會社の特許期限は明後年を以て滿了する譯にて會社にては必ずしも之れを永久に自己の所有となし置く意思にもあらず一方我國の立場より云へば該線を買收して全然我有と爲し置くを便とするものなれば適當の時機に於て更に交涉開始すべしと云ふ

●新義州の築堤計畫

新義州の邦人在留地は每年洪水のため水害を受け同地の發展を沮害することゝ不尠を以て客年來防水築堤を計畫したるが過般新義州理事廳を經て內部へ測量技師の派遣方請願したるに對し實地寫製圖提出すべく知照ありし由にて新義州民團にては目下製圖中なり然るに本築堤工事は大なる費用を要し居留民團の微力にて及ばざるを以て中央政府の補助を仰がんと企畫し之が成効に熱中し製圖出來の上は委員を選び上京せしめ親しく陳情せんと協議中なりと

地方通信

▲平壤通信

▲失職汲水夫採用　今回水道工事の竣成と共に同事務所にては市街に於ける一般共用栓の汲水販賣を實施する事となりたる爲め從來の汲水夫は何れも其職を失ふ事となりたるが右の汲水夫全員二百六十餘名の內之を選拔し其百二十七名は昨日より豫て水道事務所に於て選定したる市街共用栓汲水販賣人の手に於て同汲水人夫として使用する事となり即ち之が請負販賣區城舊市街大興面二十五名第二區隆興面四十名第三區三十一名第四區三十名等は割當て使用しつゝありと

▲裁判所工事　平壤大手通離宮前に於て昨年來新築中の裁判所廳舍は去る七月十五日を以て竣工せしむべき豫定なりしも種々事情の爲め延期し本月十五日を以て竣工の上之が引渡しを爲す事となり居たるが又々其運に至らず無據今後若干日數を延期する事となりたる由なるが一方附屬官舍建築は多分來る二十日頃には竣工すべしと云ふ

▲共用栓販賣注意　當水道事務所の選定に係る市內共用栓汲水販賣人に就きては新舊兩市街に存在する第一區より第四區迄の各汲水販賣事務所へ申込を順序と也居れるが右の事務の內舊市街に於けるものの如きは之が所在を知るに於て多少煩はしきもあれば今回一般汲水販賣人は各自人員を派して市內各戶に對し注文を求めしむる事とし且一般汲水夫は何れも腕部に英數字にて第一區は一タブリユーエス同第二より第四迄同樣の徽章を附する事としたれば一般汲水需用者は其考へにて注文ありたしとなり

▲新舊稅關工事　平壤稅關出張所の工事たる瑞氣浦基點大同江岸の埋立及倉庫二棟の建築は既記の如く既に其九分通を竣工し今後三四日間の內には竣成する筈なるが同出張所にては右の外稅倉庫二棟の建築及近く施工の事となりたる瑞氣浦より同所出張所に達する引込線の附屬工事として目下鑛業所の背後一帶地點に對する埋立を爲す筈なるが今回更に建築せらるべき倉庫は龍山に於ける同倉庫を解き之が材料を以てする由なるが鑛業所背後一帶の地に於ける埋立工事に着手するは多分明年度なるべしと云ふ

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌　一五五四號八月六日發行依例知りて置かざるべからざる記事を萃めたり（東京京橋彌左衛門町七同社十二錢）

▲法政新聞　一九號八月十日發行特設欄に於ける鈴木度支部次官代理の講演などは何人も讀で置くが可し（京城廣川町五同社一冊十二錢五厘）

講談

大岡政談 越後傳吉　第五十一回

旭堂南陵講

中村屋與兵衛の働きにより、この時取た一本の書附が、後來江戸の町奉行大岡越前守の手へ渡るのでその文面は

差入申す一札の事

一、私事親子の者傳吉殿不在中お早お梅と不義の廉有之既に大事にも相成るべきところ貴殿方御兩人のお世話に依つて無事に納まり其上お早梅の兩人金五十兩相添へ傳吉殿より私等に下され此段有難く存じ奉り候後日の爲差入れ申す一札依如件

庄左衛門
庄藏

甚右衛門殿
三右衛門殿

誠に拙ない文面ではございますが、咄嗟の中に口で數へて書かせたもの、文章にも證文にも何にもなつて居りませんが、書いたのは庄左衛門名前は庄藏が認めました、併しながら後日に大發な證據物となるを　與『サア皆さん宜うございますから繩解いて放して遣つて呉んなさい　甲『ア、爾うかい、繩解いてやるべい　乙『繩解いてやれ〳〵可愛想にお梅の頭から血が出てるぞ　甲『乃公だ殴つてる中に頭の毛をバリ〳〵と引ッこ拔いたんだ　乙『酷い事しやアがる、だから血が出てるだ、可愛相だ、乃公が傷を洗つてやるだ　甲『ヤイコラ泥棒とするやうな野郎と密通いて亭主を馬鹿にした阿魔ッ女にこの野郎諂諛は要らねへことだ　乙『マア愚圖々々いふない、諂諛でも構はねへ、那でも乃公が洗つてやるだ、なアお梅の阿魔ッ女奴、汝ア痛わだらう、ヤイ徐として居れよ　甲『イヤにての野郎諂諛をするな　乙『なんでも構はねへ乃公が洗つてやるだ　甲『何だい手の中に入れてるのは……　乙『これか唐辛子だ、唐辛子を傷口へ擦り込んでやるぞ』宛然胡椒を振掛けるやうに傷口へパラ〳〵と振掛ける、此方からは鹽を持つて來てパラ〳〵と振掛る、又唐辛子を振掛けるイヤ痛いの痛くないのと云つてお梅はヒイ〳〵と泣出しました、お早庄左衛門もその通りに酷い目に遭ひました、慘酷いやうですが皆これは惡事の報い、憎まれ切つた彼等の罪惡當然の事でございます　一同『ソーラ放してやるだ』バラ〳〵と四人放されましたが、動きも何にも出來やアしません、漸うの事五十兩の金を持て四人這々の態で我家に戻つて來ると、家は螺螄の籠見たやうになつて居る、惡い事は出來ぬものでございます、サア斯うなると仕方がない、庄左衛門庄藏お梅お早の四人はマア家の壁の壞れた所や何かは仕方がないから、人を頼んで壁を塗替へ修繕普請をして、全然家が潰れた譯ぢやアございませんから、何うか斯うか手入はしました、茲所で庄左衛門が名主を退役をして庄藏が探偵を御免を蒙つてしまへば仔細はないのでございますが、サテ心の曲つた奴は仕方のないもの、洒蛙〳〵として矢張り庄左衛門は名主庄藏は探偵を勤めて居る、サア村方の者が承知しません此方は傳吉我家にスッカリ手入をいたしました、今まで無くいたしました田地田畑を買戻し、何しろ三百兩といふ金子がありますから立派な百姓になつた、萬事甚右衛門三右衛門が共に相談對手中村屋與兵衛は傳吉が以前の家にする閒何うも仕方がない係り合ひ、親類同様の間柄になるから萬事相談對手になる、この位の人が相談對手になるから家の改革位何の造作もございません、ソコで傳吉は氣立が宜うて評判の宜い人、萬事好都合に相成りました與兵衛も安心をしてお仙を連れて中村屋へ歸る、斯ういふ事になると村方の者が其儘では棄置かない、庄左衛門は名主を退役をさせ、庄藏は探偵を辭職さそうといふことを若い者連中で相談を決めまして、一働きしやうといふことになりましたがどういふ働きをいたしますか一寸一息……



東京電報

▲伏見宮御歸京

御歸京の途次東海道線不通の爲め名古屋に滯在中の伏見宮貞愛親王殿下には本日御歸京相成りたり(十七日)

▲各地天候平穩

昨夜來より一朝に掛け雷雨を見たるが右は昨日甲信の境に發生したるものにして今朝千葉茨木の境にありて東行しつゝあり而して此の雷雨は獨り東京市內のみならず關東一帶に及びたるものにして其の雨量よりするも差して憂ふべきものにあらず只仙臺附近に夜來多少の雷雨あるも差當り憂慮すべきものなし(同上)

▲長野縣の水害

長野縣本日晴快となり其の後漸やく減水す昨日迄の被害各方面を綜合すれば家屋流失百十同浸水一万一千二百二十八、同破損千百七十八死亡者十一、負傷者十八行衛不明者六名なり(同)

▲埼玉の被害高

今回の水害に就き被害の最も甚しきは埼玉縣下にして田五萬九千九百十一町步畑六万九千二百三十一町步此の收穫皆無なりとせば其の損害實に一千七百九十四萬千九百七十七圓の價格に上り桑園一萬町步此の損害五十万圓秋蠶一万石此の損害百萬圓死亡者百六十名行衛不明者二百六十一名重輕傷者十一名家屋の全潰半潰四百九十一流失千二百二に達す(同上)

▲罹災民と救助

近來になき東京市の浸水は一昨夜來減退一方なりしも各河上流の降雨多量の爲め昨朝より稍增水の模樣あり午後二時滿潮時には又々不安の念を催さしめたるが其の後降雨なき爲め減水の狀態となり一同愁眉を開くに至りぬ之れと同時に陸海軍の活動は一層の便利を得一方罹災民の救助者は其の數を增しつゝあり被救助人員は三十萬人に達す中には一日僅かに一個の握飯に飢を凌ぎ二日目に又た一個の握飯を口にするものあり甚しきに至りては浸水以來今日に至る迄食物を口にせざるもの尠からず(同上)

▲水害と傳染病

罹災民の多くは二三時間乃至一日潤水に浸りたるを以て昨今市內に赤痢病腸窒扶斯等に罹るもの續出し前途頗る憂ふべきものあり(同上)

▲大水害と米作

今回の大水害による米の減收高は水害地方關東一圓靜岡長山梨長野福島宮城山形の五縣を平均四分の一とし此の實收額一千万石と見積り更に四分の一即ち二百五十萬石を三分作とし此の減收高百二十五萬石と見積り殘り四分の三即ち七百五十萬石の塲所は天候不順により減收を二割五分と見積り此減收高百八十七萬五千石にて總減收高實に三百十二萬五千石となる譯なり(同上)

●七月中の密漁船數

先月中の密漁船發見總數は二十四隻に[illegible]も一面巡邏船が隨意其取締に從事したる効果なりと云ふ

▲白晝盜賊橫行

出水は減退一方なるが警官其他の疲勞に乘し强盜竊盜及船泥棒等白晝往來するは沙汰の限なり(同上)

▲溫泉浴客の困憊

上州草津溫泉の浴客二千余名は出水交通杜絶したる爲め飢渴に瀕し酸鼻の狀態見るに忍びず(同上)

▲水害と物價騰貴

今回の水害に就ては救護緩漫の狀あり千住方面にては食糧缺乏して小さき握飯一個一錢細き澤庵一本十錢石油一升六十錢等にて瞬間に賣切れの狀なり靑物も不足して六七割方騰貴し牛肉一斤六七十錢鷄卵一個六七錢と云ふ未曾有の騰貴を示し之れが取締も甚だ緩漫なり(同上)

▲內務省と東京市

水害救助方針に就て內務省の意思漸く決定し東京市に於ても市と交涉する所あり臨時市會を召集して救助方針を決定すべしと(同上)

▲鐵道被害總額

今回の大水害の爲めに蒙りたる全國鐵道の損害總額は三千四百万圓餘に上り殊に東北地方に於て激甚を極めたり

▲市會と救助金

東京市會は臨時會を開き水害救助金九十万圓を支出し應急處置を爲す事に決し二十五名の水害調査委員を上げ調査せしむ(同上)

▲中央俱樂部と活動

中央俱樂部にては肥田、大野、加治の三代議士を委員に上げ水害善後策に付き本日內務省警視廳府廳市役所等に出張し當局者の意見を聞きたる後各自の意見を開陳せしむる筈(同上)

▲瓦斯會社の復舊

浸水の爲め供給を杜絶せる東京瓦斯會社は平生に復舊し供給を開始せり(同上)

紐育電報

▲夕氏の鎭撫策

大統領タフト氏は國民要求の聲を沈めん爲め內務卿バロンジャー氏をして專ら其衝に當らしむ(十八日)

伯林電報

▲佛大統領訪獨

佛國大統領ファレール氏は鐵道罹災民の爲め獨逸訪問日程を短縮せられたり

▲佛國の列車衝突

佛國ホルトワーール間に於て一女塾の生徒を乘せる特別列車衝突し死者六十名を出せり(同上)

雜報

天使の昇天

博愛の天使ナイチンゲール孃は千八百二十年伊太利のフローレンスに生る初め獨逸國カイゼルスウエルトなる新敎尼寺に於て看護婦としての敎育を受け後巴里に赴きて佛國式看護法を專修し倫敦に歸りて千八百五十四年クリミヤ戰爭に關して倫敦タイムスの特派從軍記者ラッセル氏が軍隊の時疫と負傷とに窘み看護不行屆の爲悲慘なる死を遂ぐる者續出する由を報ずるを聞くに及びて奮然身を挺して同年十月クリミヤに赴き看護に從事すること足掛三年に及べり孃は夜々燈火を携へて病室を巡視することと懇切を極めたる爲病兵は之を「燈火を携へたる婦人」と稱して其の來るを遲しと待ち焦れたりと云ふ戰役果てゝ後國民は謝意を表せん爲五十萬圓を贈りしが孃は之を以てナイチンゲール看護婦學校創立の費に投じたり爾來諸般の看護事業に干與しつゝありしが今回九十餘の高齡を以て昇天されたり

●海豐府院君の債務

韓皇室の外戚海豐府院君尹澤榮氏が數十萬圓の債務を負ひ既に民事訴訟の結果裁判確定せるものも尠からざるは何人も知る處なるが警務總監部にては過日來此事件に就き調査に着手し尙ほ詳細起債の原因及其後の關係並に今後仕拂の方法等に就き一應債權者側の意向をも確め置かんと欲し十八日午前同部に一同を召喚したり而して債權者は日韓淸三國人に亘り居れるが其內日本人は中村再造、藤井某の二名主もなるものなりと云ふ

●京城文庫の藏書數

京城文庫の藏書を聞くに唐本、韓書類千三百二十九冊、神書、宗敎類九冊、敎育、哲學類五十冊、文學、語學類百〇五冊、歷史、傳記、地理、紀行類百二十冊、政治、法律、經濟類二百九十五冊、數學、醫學、理學類三十八冊、工藝、兵事、美術類三百五十冊隨筆、雜書類三千八百七冊計六千一百〇三冊にして目下普通文官試驗者に同文庫の書籍を供覽する者頗る多しと云ふ

●來年改修主要道路

來年度豫算により改修すべき主要道路實測濟分は[illegible]溫泉里より禮山迄約八里[illegible]多富院の七里馬山[illegible]山間等なるが何れも[illegible]を追ひ實測さるべきも[illegible]急切中の急[illegible]五十餘里に亘る大洋なれば果して本年[illegible]

[illegible]を爲したる人の談に依れば鯨の漁場として最も有望なるは對州の北海岸より[illegible]

[illegible]內部例の通り到るべき[illegible]未定なりと

●私立學校續々廢校

韓國各道に於ける本年[illegible]月以來の私立學校廢校數は約百校以上に及びたるが開校に至りては廢止の一割に充たざる位にて昨今尙續々廢校を申出づるものあるが今其の內容を聞知するに昨年來の新敎育普及と一方基礎薄弱にして維持の困難なるより廢校の止むなきに至りたるものなりと云ふ

●傳染病患者の續發

昨今の凉氣と共に傳染病患者續發の虞あるは屢次所報の如くなるが本月一日より十八日までに到る發生數左の如し

	日人	韓人	計
腸窒扶斯	六	一〇	一六
赤痢病	六	一	七

而して患者は總べて日本人に多ければ注意を怠るべからずと云ふ

●定例大臣會議開催

十八日は大臣會議の定日に就き朴內相趙農相、李學相、閔宮相、高度相の四氏相前後して登閣し午前十時より會議を開けり會議の要項は日本水害見舞の件及故志士追諡の件等なるが水害見舞に就ては都合により討議見合となれり

●留學生の就職希望

多年日本に留學して帝國大學、早稻田大學其他各學校を卒業し所謂錦衣歸鄉の留學生連に就き學部に於ては今後の所世方針を尋ねたるに一部を除ける外は皆な官邊に就職希望の由なるが學部に於ては出來得る限り斡旋して希望に副ふ筈なりと

●興王府の調度增額

今回興王に進封せられたる李載冕は從來の調度金年額一萬二千圓なりしも同時に二萬圓に增額を賜はりたる而して新に親王府を設置し其總辨には鄭萬朝氏任命されたりと云ふ

●興親王前夫人追封

完興君李載冕の追封せられしに就ては前夫人閔氏にも王妃の追封ある筈にて今明日中の官報を以て公布せらるゝ由

●大韓民報發行停止

十八日發行の大韓民報三五三號は治安妨害と認め發賣頒布の禁止及發行停止を命せられたり

●蔚山慶州間の實測

慶州蔚山間約九里間改修實測の爲め內部吉武技師は八八より實測班を率ひ三四日內に同地方に出張すべしと

●慶應義塾同窓會

慶應義塾出身者は十九日午後七時より花月樓に於て同窓會を開く筈にてそれ〳〵通知を發したる由なるが通知漏れの人にして出席せんとする者は京城日報社內楯田五六氏宛て申込むべしとなり

●輸入貨物保險狀況

韓國に輸出する貨物は保險を附する者[illegible]少の模樣なり而して韓國より阪神に輸入する貨物になりては東京保險會社扱[illegible]

●明石總長の招宴

明石警務總長は十九日午後七時より在京各新聞通信社長內地新聞特派員等を倭城臺の官邸に招待して觀月の宴を催さるゝ筈なり

●木下技師の歸任

大同江より鴨綠江方面の海事事務視察の爲出張中なりし關稅局技師木下重松氏は十八日歸任

●堀江代議士入京

衆議院議員堀江覺治氏は十七日入京天眞樓へ投宿せり

●滿日社長の入京

伊藤滿洲日報社長十九日夜新義州より入京せし筈なり

●久木田醫師就任

仁川警察署囑托醫として久木田直熊氏を招聘就任せり

KOREAN PENINSULA

AS VIEWED BY A FOREIGNER.

外人の視たる半島(十一)

一外人記述

▲余が宿ソンタックホテルはチヨントン町に在つて現在は半島首都に於ける唯一人氣ある外人の旅館だ、此旅館元は怪腕を以て聞へしソンタック婆さんのもので、營業費の全部は時の韓皇から補助されたものであつた。此ホテル元はソンタック邸と云つて或意味に於ては横濱に於ける昔の富貴樓であつたソコで主人の婆さんはサシヅメ行き方の違つたれ倉女將であつた。

▲韓大官、外國公使、御用商人等皆婆さんにゴ厄介を掛けた、婆さんの勢ひは飛ぶ鳥をも落す程であつた、古いリチスターを繰るとウエバー公使の名がある、ロシヤンチユでアレキセーフの羅商たりしギンスバアークの名がある、其他誰彼、婆さんは之等投負客の爲に爪牙となつて働いた、東洋のバルカンは其暗黑の舞臺に於て必ずしも此妖婆を要した。

▲千九百五年の秋ソンタック邸は大使マルキス、イトオの公宿となつた、公宿は邸主の爲に一世の光榮であつた、併し此光榮を擔ふと同時に妖婆は前途を悲觀することゝなつた。

▲妖婆の數奇なる運命は東洋バルカンの運命と共に終焉を告げ守城の任は彼女から解けた、彼の女は多年の貯蓄を擁して其生國へ歸つた。

▲否きりチスターを繰て興味を覺へたる余は新らしきリチスターに就いて一層の興味を覺へんと欲した、主人の許すがまゝに繰て見るとソレにキチナア元帥の名がある、ロスチヤイルドの名がある、妖婆時代の夫と[illegible]客種が全く一變した。

▲過去の京城、過去のソンタック邸にモハヤ最へに歸らぬ、併しチヨントンのホテルは其經營者を換へて益榮へんとして居る、此一箇ホテルは半島事物の殘選を追悔なく語つて居る。

▲チヨントン、之を漢字に直せば貞洞と書くのだ、貞洞の位置は慶雲宮乃ち太皇帝住所の後で所謂フォレン、セトルメントのあるところだ、元は各國の公使館が大抵此セトルメントに在つたのだ之等公使館が今は領事館に變つた。

▲各國の領事館、元が公使館であつただけに其建築は立派だ、併し其主人は公使に非ずして領事だ、外交團は疾くに消れた、在るものは領事團のみだ。

▲聞く日本人諸君は右領事團をば今以て外交團と呼ぶソウだが、之は習慣から來た間違の樣だ、公使は公使、領事は領事、夫々に區別すべきものだ、習慣からとは云へ領事團を呼ぶに外交團を以てするは耳障り眼障りの事だ。

▲序に云ふが目下京城に在る各國の領事は何れも立派なる紳士だ、併し其學殖や經歷や調べて見ると、丁度日本から南米、マニラ、乃至シドニー邊へやつて在る領事とソコソコの手合だ、此手合が動いたからとて政治的意味のないのは知れた事だ、而るに韓人否な日本人諸君も時々は此手合を買被ぶる趣きがある樣だ。

釜山に於ける明太魚

釜山港移入の明太魚は咸鏡道沿岸元山新浦遮湖前津附近に於て漁獲さるゝものにして漁期は毎十月より翌三月迄とし漁期中は沿岸の漁民は固より遠く慶尙全羅地方より出働する者多く而して漁獲物は前記地方に於て直に乾魚とし汎く韓內地に搬出するものなれば勢ひ漁期中は他地方に移入さるゝ事最も夥しく釜山港の如きは明太魚の重要なる集散地なるを以て四時共に出入絶へず其移入先のことなるは京城を初め京釜京義鐵道沿線及群山馬山木浦仁川の他沿岸諸港なるが明太魚は釜山港國內貨物中の重要品なるを以て同魚漁の盛衰は同港經濟界に影響する事甚大なり釜山港草梁に明太魚扱機關として倉庫會社及問屋彰興社あり同港移入の明太魚は殆ど全部同問屋の扱ひして又會興社は倉庫に收容さる彰興社は漁地荷主團林の組織にして草梁に出張所を設け漁地よりの移入取引或は同港に於ける專賣取引を掌る會興社は純然たる明太倉庫にして一切他の貨物を收容せず以上同社は共に韓人の出資組織にして韓荷主は漁地より彰興社に向け送荷し彰興社は直に之を倉庫に寄托し其倉庫證劵を以て農工銀行草梁出張所に於て七乃至八掛にて資金の融通を受け漁地荷主に對し支拂を畢し荷主は此代金により漁塲地方日常品を購入す斯くの如く[illegible]して釜港と北韓間の通商を頻繁ならしむるなり而して彰興社は一般の商況を酌み相塲を定めて初めて市塲に出す却說賣行の盛季は舊正月及盆節季にして賣行の鈍きは四月より農繁期なり價格は十一月より一時昂騰す是れ新魚の出ざるを以てなり隆熙二年中釜港移入額は一一七四〇四三圓同三年一二八八四圓同四年一月より五月迄七三四六三圓の巨額に上れりと

●阪神對韓國の海運

韓釜聯絡により日韓鐵道聯絡運輸の途開くるや海運界は一時打擊を蒙り船主側に於ては運賃の低減を以て之に應戰し玆に海陸運間に競爭の緖を開くに至りしも事實は決して憂ふべきものなく唯た其貨物の性質により船車各特長を有せり夫の消費稅拂戾の關係を有する織物の如き其手續を門司に於てするよりも大阪に於てなすを便とするを以て殆ど汎船便による他重量高き貨物は一に同船便を便とする如き其一例なり併し一面鐵道により影響を受けたる亦寡からず則ち綿絲織物以席の如き殆ど鐵道に吸收さるゝに至れり以上の如く鐵道聯絡開始以來海運界は多少の影響を受けたるも大体に於ては甚しからず併し本年は昨年來の不況を襲き殊に穀物の輸入頗る少額なりしは著しき打擊なりし

●外國貿易稅額累計(關稅局調査)

本年一月より七月に到る韓國外國貿易の累計は左の如し

	有稅品	無稅品	合計
輸出	八、〇九六、八〇一	一、五六四、九二〇	九、六六一、七二一
輸入	一五、五四二、二八〇	三、〇五七、七五八	一八、六〇〇、〇三五

則ち輸入の輸出を超過する事實に八百九十三万六千三百十四圓に達せり尙は金銀の輸出入額は左の如し

輸出 五、五九八、八六三 輸入 五、五四二、五〇八

則ち輸出超過五万六千三百五十五圓を示めせり更に之により得たる收稅額は左の如し

	圓
輸出稅	三九七、九六四、五四〇
輸入稅	一、一〇三、五二〇、六〇〇
噸稅	四三、五四四、七五〇
諸收入	二三八、七三六、九六〇
計	一、六四二、七五六、八九〇

●木浦最近貿易狀況

去る四月より六月に至る三箇月間の木浦港に於ける外國貿易の總額は四十六萬五千九百十五圓にして之れを前年同期に比すれば四萬一千餘圓の增加を示せり同期に於ては地方の暴徒鎭定に歸せざりし爲め著しく其發展を阻害せられ例年稀に見る不況を呈したるに本年は全く之れに反して地方の秩序は殆んど遺憾なく恢復せられ加ふるに前年來の棉花輸出の好況は頗に韓國民の購買力を潤澤ならしめたる結果遂に如上の差額を示すに至りしものなり然れば輸出貿易に於ては棉花貯藏品の漸次加工輸出せらるゝものありて尙異常の盛況を持續したるも貿易の大宗たる米穀の輸出捗々しからざりし爲め總額に於ては輸出に於て一萬七千八圓を減少せり

●群馬縣共進會派遣

來る九月十七日より開催さるべき一府十四縣聯合共進會に對し韓政府も參加して既に其出品物は名古屋福岡への出品物を廻送せるが主務部農商工部は之が陳列整理の爲め森主事を派遣する事となり同氏は來る廿一日頃出發すべし

●在韓會議所聯合會

在韓商業會議所聯合會は九月中旬より京城に於て開會する筈にて釜山其他の會議所より既に議案を送附し來れりと

●米國總領事の歸任

京城駐在米國總領事「ジョージエチ、ニドモーア」氏は兼て賜暇歸國中のところ去る十六日歸任したり

公人私人

▲池田活之助(度支部技師)十七日入京三ケ月へ

▲石渡又八(横濱東陽銀行支配人)同浦尾へ

▲野口弘毅(一銀釜山支店長)入京中の處十七日平壤へ

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
十八日	五七、六七四、〇八	二二三

▲治外法權▼

安奉線改築工事が非常なズンズン進で鴨綠江架橋工事が捗取つて行くのは結構な事だ、我大陸經營の動脉さへ極りが附ば其他は問題がソレ自身を解決する▲統監が政務に關する諮問機關を作るとの噂がある、モシ本當なら結構な事だ、併し夫は夫れとして記者は政務諮問と迄は行かずとも韓民の舊慣制度の調査機關は是非作るが良いと思ふ▲在韓邦人中に半島通が幾らもある、之等半島通と韓人中の判つた𡸴どを合せて二三十人も使へば調査はドノ方面にも出來る、已に臺灣やピリピンに先例があることだ、統監も何さか考へたら良からう▲平南鐵道が愈出來上がつた、之れで冬の鎭南浦が生きる事になつた、あとは平元線だ、西北韓の人士大に努力すべしだ▲此頃はフランスや獨逸の軍艦がよく仁川へ遊びに來るようだ、東洋の無事は之を以ても知れる▲宋秉畯等が馬關に居るのは間接に何かの爲になると或人が云つた、實際宋ならスマナイチと云ふか▲クリミヤ戰爭以來赤十字事業の母と呼ばれたナイチンゲール孃が亡くなつた、孃の人格事業は奧村五百子のソレの如きものではない、博愛の天使とは全く孃の事だ▲仁川の水道が完成した、之れで火事の心配がなくなる▲時局の暮明きが遲い遲いと呟やくのは大向の事だ、本當の見物は幕を透觀すれば良いのだ。

無意味な殺生

▽猛獸より獰猛なる人間

文明になるに從つて理屈上必ず退歩しなければならないものが事實上却つて益々盛んになるものが往々にしてある樣だ、彼の遊獵の如きは其の隨一であらう、此れは何の方面から考へても今日文明の世に存在すべき筈のものではないのだ、生物を殺して娛樂とする何んと云ふ殘忍な行爲であらう、と申たで私は決して彼の殿堂に禪や佛の道を說て後庭で軍鶏を鬪はす博徒の如な當世に適用しないことは申さない、私は生物を殺すのが惡いと云ふのでなく目的なくして殺生するのが惡い娛樂の爲めに殺生するのが惡いと云ふのである人畜や林産物や農産物を荒す惡獸害鳥に向つて又は銃獵に依つて其の獲物に衣食する人が矢玉を夫れに放つのは前に云ふた如く、後者は自己生存上の必要に迫られたる行爲として認むることを躊躇しないが無意味なる殺生は斷じて不可と云ふのである。と云へば遊獵家は斯う云ふであらう「遊獵は自身の血行を盛んにし、心の活氣を催進する爲めだ」と併し只夫れ丈けの理由では生物を殺すのが至當であると云ふことは云ひ得ない、筋肉の發達、心身の活潑を希ふのなら遊獵よりは更に適當な運動方法がある生物を殺すよりはモット良好の方法があらう。例へば……彈丸を生物の上に注ぐ代りに……人間は猛獸より更に醜惡な一種の野性を有して居るものである、猛獸と雖ども人間の如く娛樂の爲めに他の動物を殺すものは無いのである、死の手に瀕せられたる生物の刹那の苦痛を平氣で快げに眺めて樂むものは人間より外にないのである、今にして此の性情を矯めねば何處迄退歩するか知れたものでない、彼の西班牙に行はるゝと云ふ闘牛の面を蔽はずして見得るものは隣人子弟互に劍を執つて相爭鬪するを見る利害の我れに關するものなくんば座して默視する種類の人間に相違ない、フランク、フォレスタアと云ふ人は自分の感情上では遊獵は最も心地よき遊戯で殊に當代の浮華文弱の弊の對症藥としては恰好と感ずるが正義の上からは到底之を是認することは出來ぬと云つて居る相だ之れは誠に我意を得たものである、追々遊獵の好季に向ふ今日山獵夫を眞似たがる紳士諸君の三考を煩はす(むの字)



法學士と會社員

▽此所暫くが見物だ〱

只本町と計りで何丁目か夫れさへ判らねば元より番地なんどの判らう筈なく御職掌は何んでも吾々なら名を聞いた丈でも縮み上る恐い〱閻魔の廳へ他人に頼まれて出頭し鷺を鳥と云ひくろめて細川とやら云ふ法學士殿あり家には妻もあれば子もあるが夫れは夫れ是れは是れそれ手前もの〻權利と義務の使ひ分け一夜新町遊廓は大桝屋に押し登り近頃メッキリ女振りを上げたる銀鳥女郎と敵娼さして遊興したのが病み附きとなり爾來繁々足と金とを運んで御座るが豈に計らん銀鳥には此の殿よりは前に深く云ひ交はした明治町邊の或る會社員楠原と云ふ高襟男が附いて居るのだ然るに夫れを氣振りにも見せず巧に繰る腕の凄さには一同感嘆の眼のくり玉を引ん剝いて此の頃の秋風に捲き上ぐる小砂の眼入するのさへ忘れ果てゝ居るとか然るにても此の妓先日の本紙で外出するとの事を發表せられて「男のところへ通ふ如な女ちやない」と威張れる丈け威張つたが實は確かに判然と一週間に一度宛位は出開帳の車を押つ走らすは紛れもない事實だからヘッれ氣の毒ですが何とも致し方をない次第と觀念しやんせ銀鳥さん筆の序に其の生れ故鄕を紹介すれば何を隱さう伊豆國は賀茂郡稻梓村字相玉百二十四番地士族渡邊由藏の養女で本名はやすと申し侍るが靜岡高等女學校三學年修業中即ち四十一年九月八日皆さん御存じの通り親の爲めとあつて今の身分となつたのなりさても其の後さる程に何が仕合せになるか知れぬものにて裏の柿の木から落ちて缺いた前齒の金の義齒が呼び者となり賣れるものから賣るものから本紙三面に書かれる樣な果報妓とこそはなつたるものだが楠原と法學士との競爭は金はなくても楠原の方が六分の勝身ありと云へば法學士殿はショセンカテヘンとの噂さのまゝを

少女の連絡輸送

▽實母を慕ふて東京へ

十五日朝名古屋港の棧橋に橫附けされた鐵道院連絡船梅か香丸の事務長室へ熱田驛の助役に連れられて來た一八九の少女、汚れた飛白の單衣に襟に白木綿を縫附け「東京市小石川區大塚上町二……方連辨一郎樣內迄送らへ」と記せり、この少女は今年十一歲釜山富平町遞市太郎方に養はれゐたるものにて幼少の時他へ養女に遣られ繼母の手に養はれたが八歲の時追出されて路頭に迷ひ乞食の群に入りしを今日まで伯父の前記市太郎に引取られゐたるを今度生の親から歸つて來いとの手紙が來たので伯父に釜山から新橋までの三等切符を買うて貰ひ小使錢一圓五十錢を懷中し親を慕うて歸るとの話に熱田驛長大に同情し十三、四の兩夜自宅に泊め十五日梅か香丸で東京に送る事となりしものゝ由にて同船の人々大に同情し出帆までに三圓五十錢の義捐金が集りたりと云ふ

●七月中の密漁船數

先月中の密漁船發見總數は二十四隻にも一面巡邏船が隨意其取締に從事したる効果なりと云ふ至りしなり即ち漸く減少するに至りし韓海の魚族が饒多なることは今更めて……方面に於け漁船の關係に因れる……もなきが去月中……網の調査を爲したる人の談に依れば鰹の漁場として最も有望なるは對州の北海岸より……合なりと

●輸入貨物保險狀況

韓國に輸出する貨物は保險を附する……少の模樣なり而して韓國より阪神に輸入する貨物になりては東京保險會社扱……を以て保險會社によるものは漸々減……

日淸人の小葛藤

▽日人大和魂を持ち出す

龍山榮町二丁目理髮職高井福次郎(三八)は昨十七日午後六時頃何處で飮だか泥醉して西小門通り淸國人陳林堂方に行き支那按摩を頼まんとしたるに不在なるより隣りの張碧雲なる者に他に按摩の周旋を依賴したるに言語不通の爲め行違ひとなり喧嘩口論を始め同人雇人丁丙才に毆打せられ尙ほ附近の淸國人三四人來り袋叩きにし高井は衆寡敵せず一旦自宅に歸り更らに出刃庖丁を持ち復讐に來りしより淸國人等四五人は日本人が大和魂を持ち出したぞコリヤ一大事と一目散に逃げ高井は逃がしてたまるものかと追ひかけ家內に入りたるに裏の座敷に於て四五人の婦人連車座を作り賭博なし居りしも狼狽して逃げ走りたるが此急報に接し西部署巡查駈け付け引致し目下取調中なりと

惡少女と惡少年

▽父兄の注意肝要

龍山大島町二十八番戶某長女きわ(十三)は去十日同居八高月ゆか便所に下りたる隙を窺ひ同人の布團の下に敷きてありたる金六圓三十錢入りの財布を盜み出し五圓三十錢は同町何のりよといふに預け置き一圓を買食ひに費消せし由なるが此の少女は昨年來小學校にて朋輩の物を盜むやら附近の料理屋雜貨店等にて五錢十錢の錢を盜み又は品物を掻浚ふ手に乘へぬ末恐ろしき性行をば警察にて聞出し引致して兩三日留置き懇諭の上母親に引渡せり▲次に某少年は凱旋町の味噌屋堀田某が家の丁稚鈴木竹三郎(十五)といふ是迄にも度々主家の金錢を持出しては逃げ隱れ既に兩三度も警察の厄介になりたる持餘しものなるが去十二日にも主家の金二圓を盜むで飛出し十五日夜は新龍山櫻座附近西川高信所有の空屋に夜を明かし翌日同本町二丁目の古道具商坂井捨次郎を呼來りて前記家主が空屋に入置きたる道具を賣渡さんといふに坂井は不審を打ち龍山警察署に密告し同署よりも憲兵分隊に移牒して憲兵隊にては直ちに竹三郎を取押へ懇諭を加へて雇主へ引渡したりと此奴は三四歲の頃養子に遣られ他人の手に育てられ變に氣が僻むでは緣邊の人の親切なる戒めも頓と利目無く斯る惡少年になりしならんと困つたものなり

活動寫眞を盜む

▽日韓人共謀して

大阪市南區安堂寺橋通り二丁目百四十七番地早見龜太郎方同居韓國平壤生れ伯世采(二〇)は去る十一日午後十一時頃天王寺公園內不思議館活動寫眞の技手中田專策(二九)と共謀し大阪府下西成郡生野村大字林寺大阪汎愛扶植會事務所に忍入り活動寫眞機械及附屬品其他一切の雜品時價五百圓を竊取したるも中田は發覺を恐れ知人なる南區逢坂下の町氷店千原豐次郎方に持參して隱匿し置きたるを平野鄕署友成、三谷兩刑事が探知し十三日逮捕檢事局に送らる

又々惡店員の檢擧

▽主人の通帳を僞造す

奈良縣高市郡今井町當時若草町二丁目雜貨商池部いわ方雇人手井五郎(三五)は明治四十一年九月より店員として雇れ本年七月十五日迄の間に於て貸掛代金四百餘圓を橫領費消し其他主人の通帳を僞造し金錢を騙取しありし事發覺し南部署に引致され取調の上昨十八日檢事局に送らる

●烟管に科はない

太平町淸國人役副金は西部藥峴坊の時計修繕商許益三なる者に時計修繕を依賴し預かり證を受取り居りしに之を紛失し昨十七日時計を渡せと云ひしに許益三は預り證を持ち來れと云ふに預り證は遂にて渡すと云ひ互に口論を初めた際來合せたる日本人西大門外佐々木一なる者傍より淸人の主張は不法なりと喧嘩を買ひ淸人所有のパイプを折り警察に持ち出しパイプ代二圓五十錢を辨償し說論にて事濟み

●掏損なつて五年

熊本縣鮑託郡本庄村百五十四番地當時住所不定松永熊雄(三三)が本年五月一日午後八時南大門驛列車二等室にて乘客小安南道觀察府主事洪鍾國の洋服のカクシより金五圓入り財布を掏盜らんとしたるを發見し第一審裁判所に於て懲役五年に處せられしも不服控訴中の所昨十八日京城地方裁判所にて原判決通り申渡さる

●贓物牙保犯處刑

山口縣大島郡尾代村字畑大田新作(十八)が永登浦監獄在監中知己となりたる小澗吉次と共謀し同人が竊取し來りたる贓物を入質せんとしたる事發覺南部署佐藤刑事に捕れ贓物牙保として起訴せられたる事は既報の通りなるが昨十八日懲役六箇月罰金二十圓に處せらる

●兵古帶で蝙蝠買

仁川を流浪する愛知生れの無職春日守事牧野粂次郎(三三)と云ふは前科數犯の曲者にして其筋の注意人物なりしが一昨日同地山根町二丁目西森某の不在宅に忍入り縮緬兵兒帶一筋を竊取し之を入質したる金子を以て花町の蝙蝠家にて豪遊を極め込みつゝあるを仁川署員の手に捕へられ尙餘罪もやと嚴重に取調中なりと

●頗る妙な落し物

仁川署の韓人巡查は昨日の午前二時頃同地新町二丁目を巡回の際黑絽の男羽織一枚を拾得したれば本署に保管し居れりと心當りはなきか

●赤痢と腸窒扶斯

永樂町一丁目三十二番戶小原むはつ(二三)十六日より赤痢に罹り高井病院に入院大分縣人當時南山町三丁目北山さよ(二三)は十六日より腸窒扶斯に罹り大韓醫院に入院何れも其居宅を消毒したりと

●龍山の赤痢患者

龍山元町一丁目十二番戶內藤致辰(四二)は去十六日より▲淸水町寺田淺次郎(二六)は去十五日より何れも赤痢に罹り治療中

●ボヤ●

長崎縣小民當時南大門通り二丁目三十七番戶蒲鉾製造業山口峰三郎(三七)が八月十七日午前十時頃職人三名と共に製造に從事中營業用蒸籠火力猛勢なりし爲め煙突より周圍の天井に燃え移りたるも幸に大事に至らしめず消し止めたりと

●正誤●

本日貴社發行之新聞第四百八十四號之參面記事中に擧載相成りし「書記官長と妾の盜難」なる記事は全然事實無根に候間全文擧げて御取消之程願上候也

八月十七日 內閣書記官長[illegible]

京城新報社御中

目と耳

▲壽座 合同劇十九日の代り狂言は新派「心と心入場」壽劇某氏投書「下印……

▲浪花館 廣八一座十九日代り番組一「三場」喜劇「不思議の鐘二場」御祝儀寶の入船(入登)朝顏日記笑藥の段(廣吉)一の谷組打ちの段(越溜)阿濃浦平次住家の段(此重)三十三間堂中太郎住家の段(此千代)れ駒才三鈴ヶ森の段(仙春)太功記十段目(阿照)金比羅利生記百度平の段(越春)御所櫻三段目(廣八)大切れこん買油屋の段(綿掛合)三味線(豐澤仙平)

●素人義太夫例會

京城素義界の覇たる梅鶯會は師匠奈良梅久しく歸鄉の處頃日歸來したるを機とし月例會を本日正午より旭町開進亭に開催の筈にて出演者の順番は技藝の巧拙により抽籤を以て定めたれば公平此上なく無論出演者に異議の有ふ筈なかるべく當日は目下浪花館に興行を續けてドウスル黨を惱ませつゝある娘義太夫連中にて人氣ものと噂さるゝ某々等の參聽申込みも有どの事なれば席上一種の景物を添ふると同時に出演者それ自身も懸命の伎を揮ふべければ定めて聽き酬へあるべしと別府溫泉にての評判其儘

▲平民文壇▼

▲十八日の本紙三面に記載したる「惡店員の引致」なる記事中右店員を本町五丁目大上商店集金掛りとしたるは全然誤寫であつて大山商店であつたことを告白する從つて同店と御取引のある方は御心配なく以前からの集金掛へ御支拂下されたい飛んでもない誤寫を行つて御迷惑を掛けた點を深謝致します(其の係り)▲醜業婦の一所集中と云ふことは吾紙の三面主張であつたが何度繰返しても反響がない處で心細く感じて居つた次第であるが十八日の京城日報子は我紙の主張に同ずる主張を載せられた▲京日子の如き有力なる新聞紙が吾等の主張に接近せらるゝのは近頃甚だ心強く感ずる次第である▲德孤ならず必ず隣あり(むの字)▲西署管內を徘徊して居る女乞食の狂人が居る日韓淸人聯合して常に彼れを迫害し且つ見るに忍びぬ凌辱を加へる▲小兒連は石を拋ち壯者は腰に纏ふ布片を引き千裂る水を掛け毆打する▲抵抗すれば近附いて蹴飛ばす而して彼れが顚倒して悲鳴を擧げ醜態を暴露するのを見ては手を拍つて笑ふ▲抑も何が可笑い何が面白いのだ▲彼れは狂人である而して乞食である醜態の醜なるを自覺しない哀れなる一癈人である余は憐れむべく泣くべきを知つて彼れを弄ぶの是なる所以を見ない▲彼れが吾人の前に醜を演ずるのは知らずして演ずるのであるから一尺の布片三尺の紙でもよい與へて以つて其の醜を蔽はしむべきである▲然るに事實は如上の始末だ而して更らに時に此れが警察官の背後に於て行はれて居るのだ▲彼れ等癈人を保護收容する所を有せず公道に徘徊せしむるで既に吾人の恥辱である夫れを是れ思はずして泣くを知つて訴ふるを知らざる無垢なる同胞に凌辱を加ふるに至つては實に言語同斷沙汰の限りである▲文明、未だし矣(凰閣子)

今日の運勢

●八月十九日舊七月十四日●五黄友引丙辰收△一白●衰逢日新事見合せの事●親族の事煩累損害あり△二●黑●旅行轉住轉業諸願委囑に吉從新家族より損失配慮あり△三●碧●厄運日新事見合せの事盜害及橫領あり△四綠●新築旅行見合せの事△五黃●金品授受賣買貸借間違多し△六白●快欣の日建築動土に忌む家族の煩累世話事あり△七赤●會心の日大抵吉療病衞生に注意すべし△八白●平靜の日業務上疎漏失却土起業開店に吉屋入れ子孫の事注意すべし△九紫●得意の日大抵吉濫浮ある勿れ潤色に流るゝ勿れ(本町三一一部判斷)

●天氣豫報(自十八日午後六時 至十九日午後六時)

北東風 晴

十七日(華氏) 最高溫度 八一、三 最低溫度 六六、九